

概要

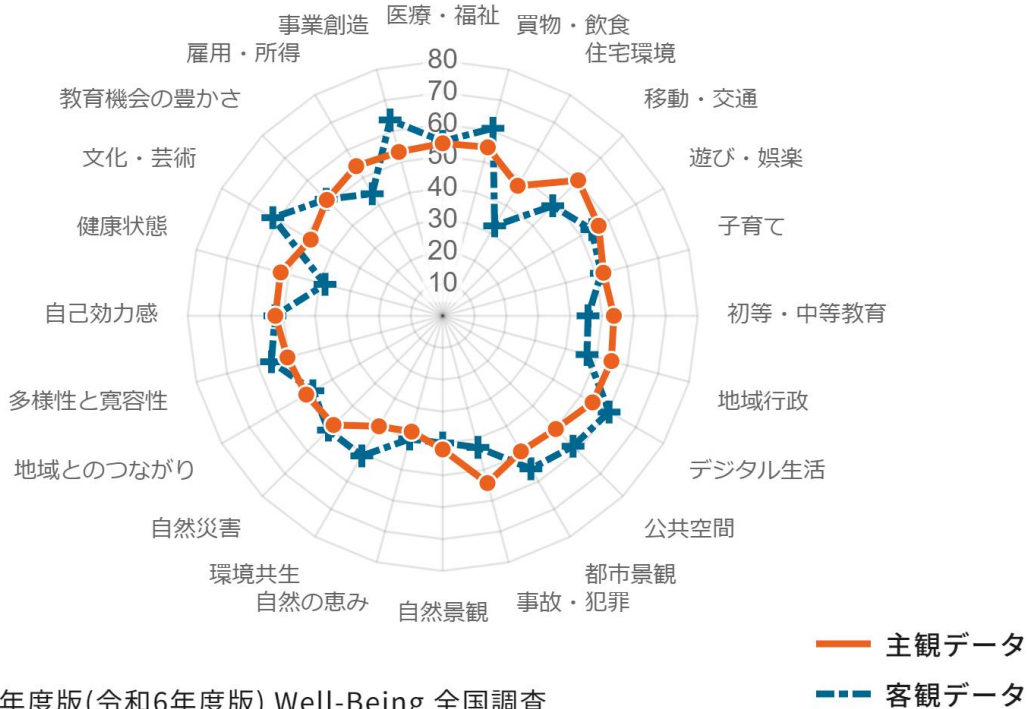
人口	8,763,068人 <small>(大阪府の推計人口 R7.2.1現在)</small>	高齢化率	27.7% <small>(統計でみる都道府県のすがた2024)</small>
可住地人口密度	6582.9人/km ² <small>(統計でみる都道府県のすがた2024)</small>	昼夜間人口比率	103.9% <small>(統計でみる都道府県のすがた2024)</small>
都市の特徴・ 周辺地域との 関わり	西日本の中心的都市であり、古来より日本の政治、経済、文化の中心地として繁栄した歴史を受け継ぐ都市。西には大阪湾が広がり、他の三方は山に囲まれ、豊かな自然に恵まれている。		
将来都市像	「明るく笑顔あふれる大阪」の実現に向け、5つの将来像を策定し、その実現をめざす。 1.世界をリードする大阪産業 2.水とみどり豊かな新エネルギー都市 大阪 3.ミュージアム都市 大阪 4.子どもからお年寄りまでだれもが安全・安心ナンバー1 大阪 5.教育・日本一 大阪		

サマリー

- 客観データが平均値（50.2）を超えている14項目の中でも上位3つは以下のとおりである。
事業創造（63.6）、
文化・芸術（61.5）、
買物・飲食（60.9）
⇒以上のことから、大阪府は買物・飲食等の生活を取り巻く環境が充実しており、事業創造や文化・芸術において盛んな地域であることが分かる。
- 一方で、住宅環境や健康状態の値が低く、Well-Being向上に取り組む際の優先事項になると考えられる。

カテゴリー別グラフ

カテゴリー別 回答者数（6,735名）



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査
デジタル庁HPより引用(R7.1.7 ダウンロード)

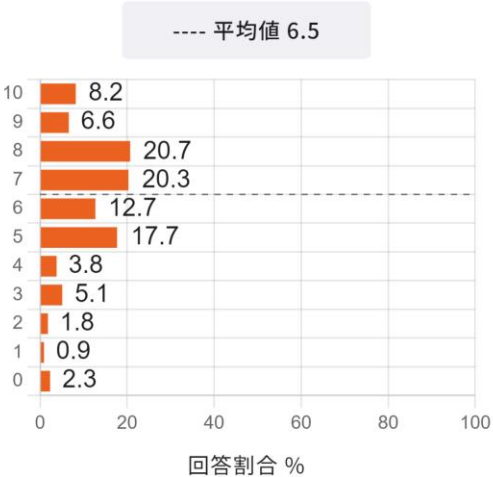
■数値一覧（主観/客観）

医療・福祉（54.1/54.7） 買物・飲食（54.7/60.9） 住宅環境（47.1/32.6） 移動・交通（60.1/48.8）
遊び・娯楽（56.5/54） 子育て（52.2/51.5） 初等・中等教育（53.7/45.6） 地域行政（54.8/46.9）
デジタル生活（54.3/60.3） 公共空間（50.2/57.8） 都市景観（49.1/55.4） 事故・犯罪（54.3/42.7）
自然景観（41.9/39.9） 自然の恵み（37.6/40） 環境共生（40/50.7） 自然災害（48.4/50.7）
地域とのつながり（49.4/47） 多様性と寛容性（50.4/55.6） 自己効力感（52.5/52.6） 健康状態（52.6/38.2）
文化・芸術（47.8/61.5） 教育機会の豊かさ（51.4/51.7） 雇用・所得（54.2/44.2） 事業創造（53.2/63.6）

大阪府民の幸福度・生活満足度

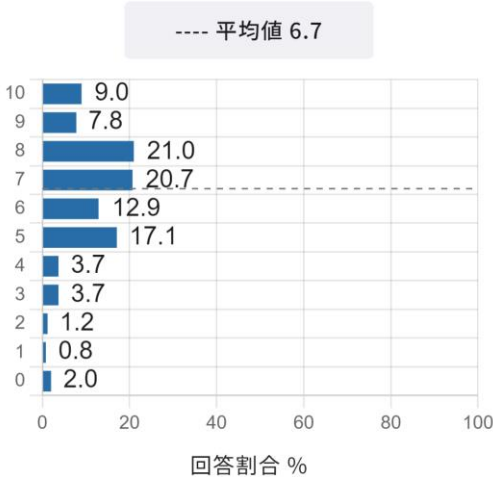
デジタル庁HPより引用(R7.1.7 ダウンロード)

幸福度



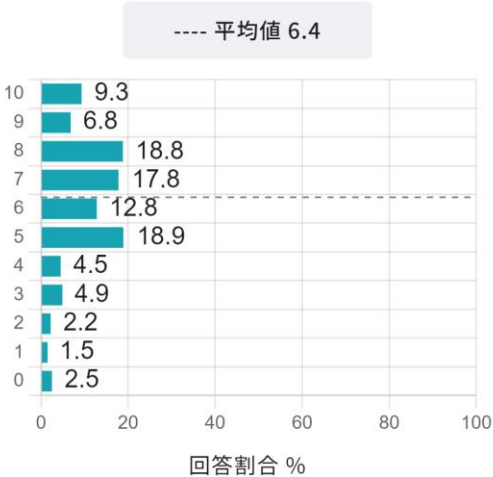
【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

生活満足度



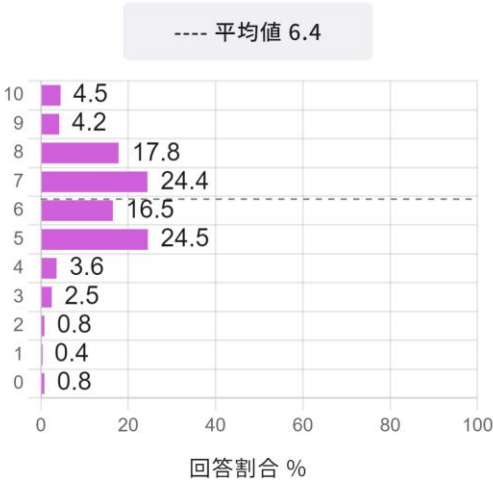
【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

5年後の幸福度



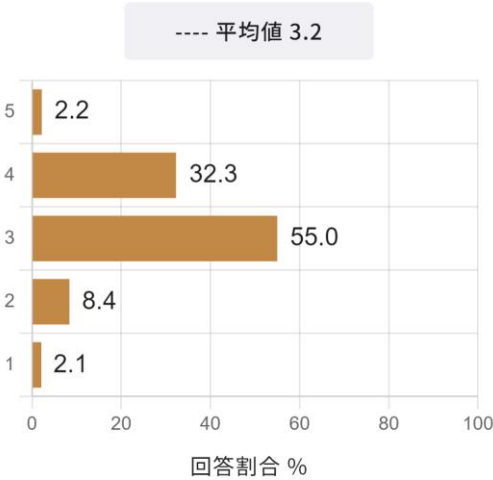
【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

町内の幸福度



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

周りも楽しい

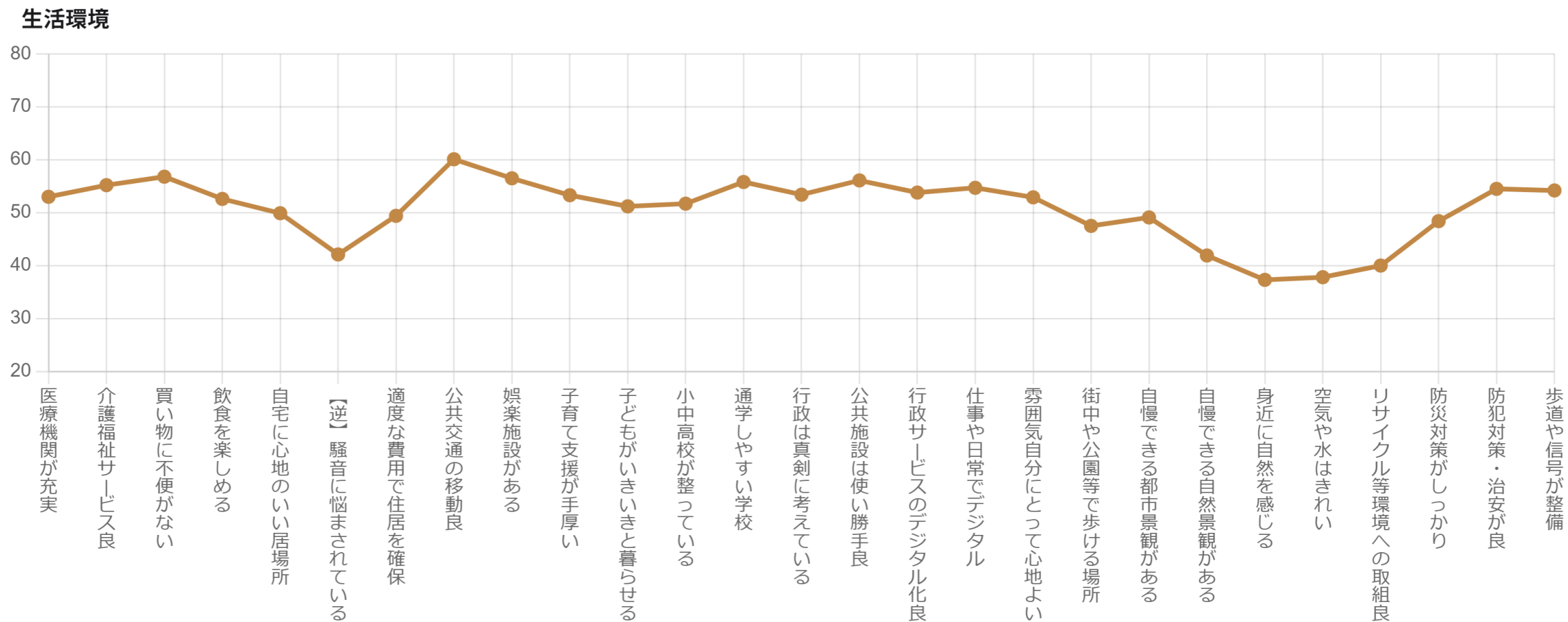


【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

【主観】大阪府の生活環境

デジタル庁HPより引用(R7.1.7 ダウンロード)

3

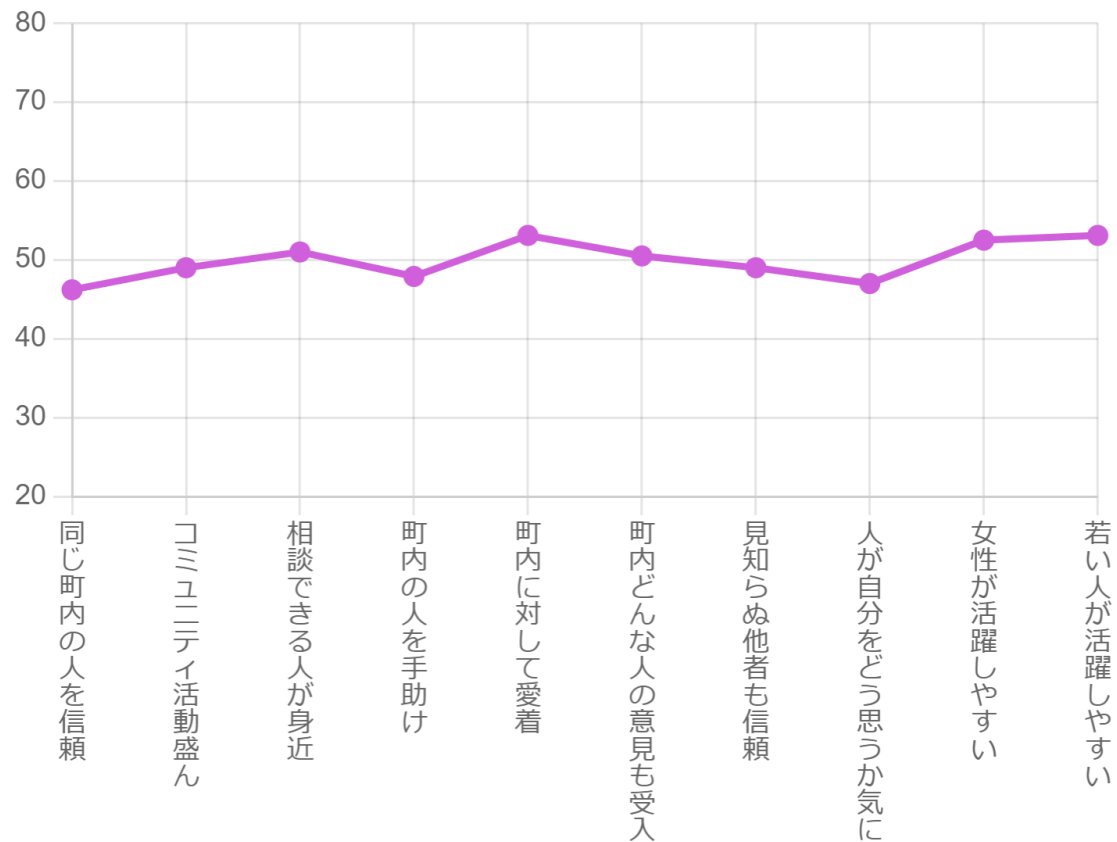


【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

【主観】大阪府の地域の人間関係・自分らしい生き方

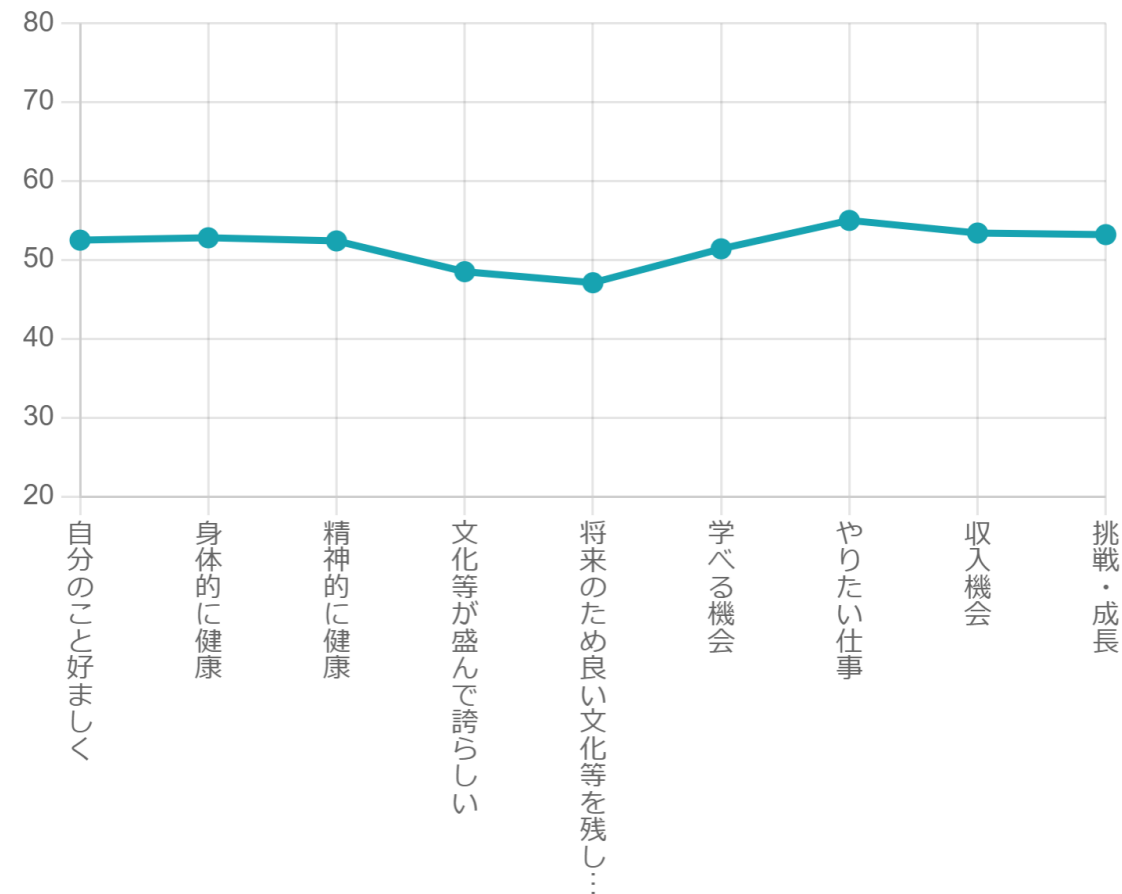
デジタル庁HPより引用(R7.1.7 ダウンロード)

地域の人間関係



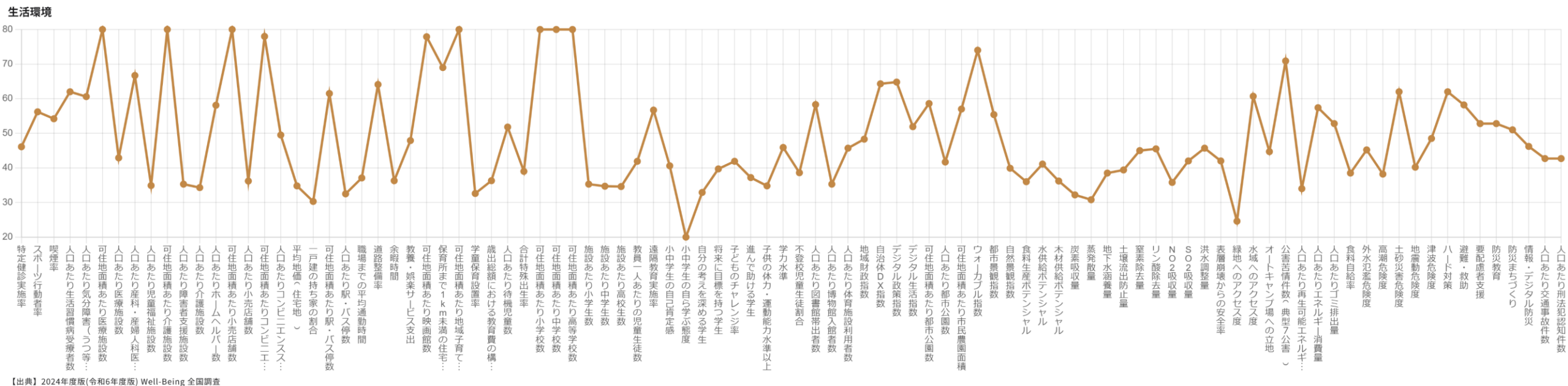
【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

自分らしい生き方



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

デジタル庁HPより引用(R7.1.7 ダウンロード)

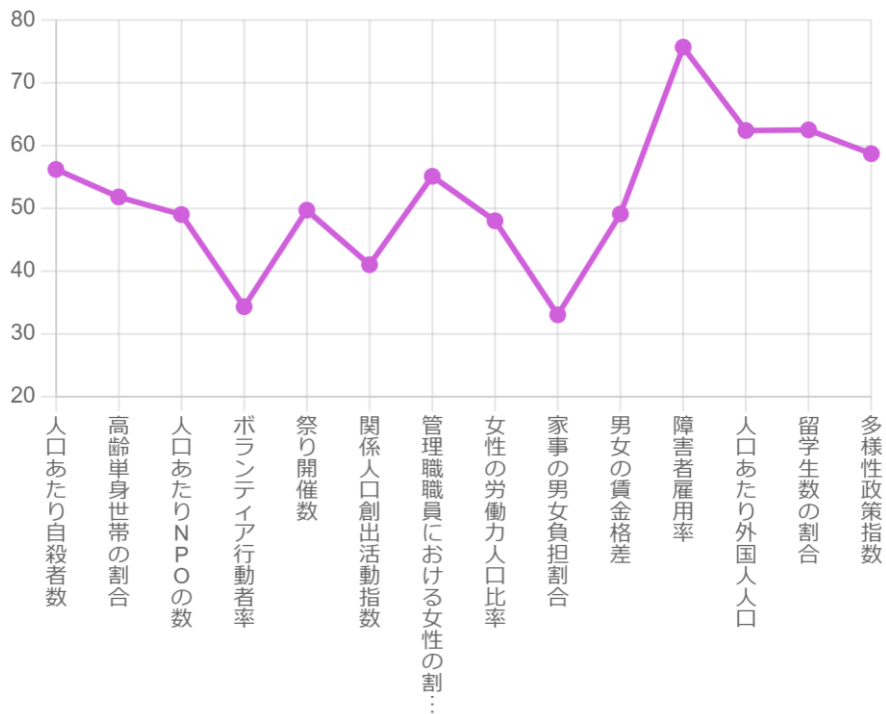


【客観】大阪府の地域の人間関係・自分らしい生き方

6

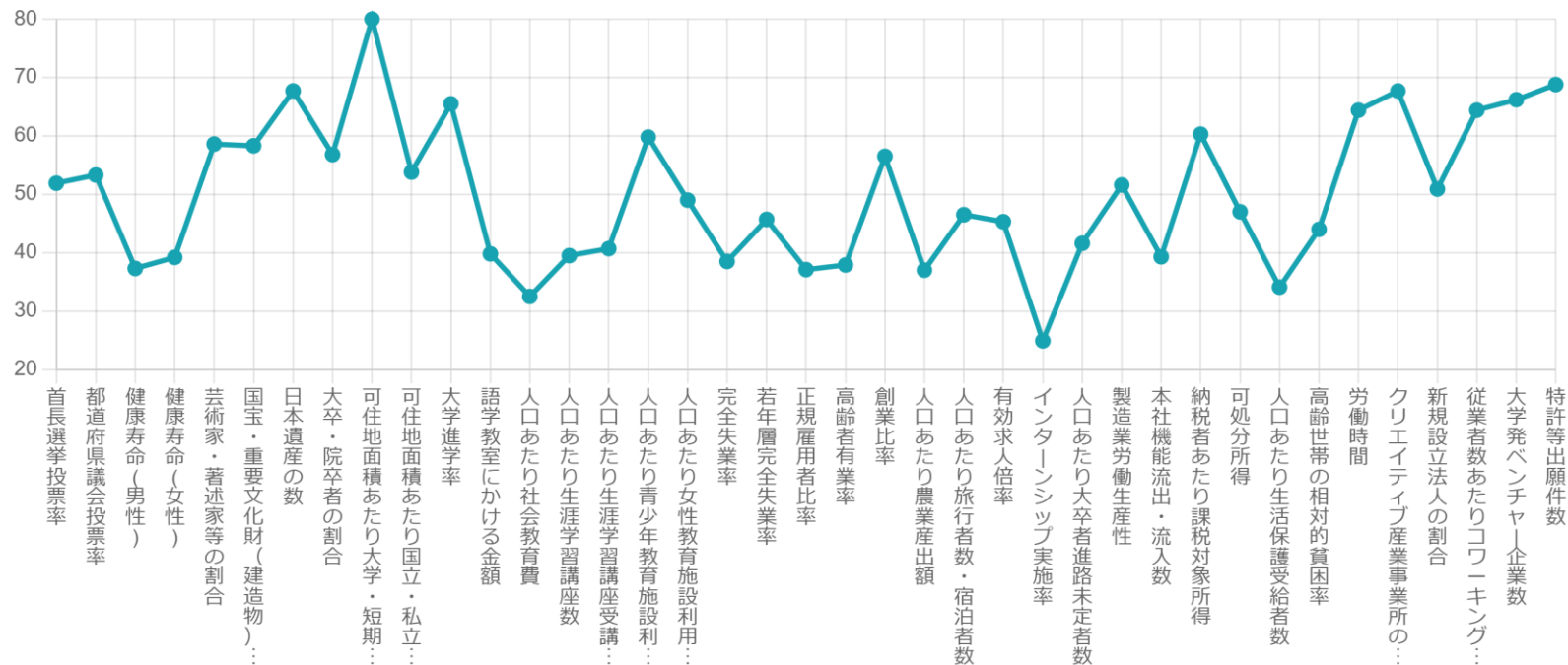
デジタル庁HPより引用(R7.1.7 ダウンロード)

地域の人間関係



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

自分らしい生き方



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

	T（脅威）	O（機会）
S （強み）	<p>（主観50以上、客観50未満を記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動・交通 ・ 地域行政 ・ 健康状態 ・ 初等・中等教育 ・ 事故・犯罪 ・ 雇用・所得 	<p>（主観と客観の偏差値50以上を記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・福祉 ・ 遊び・娯楽 ・ デジタル生活 ・ 多様性と寛容性 ・ 教育機会の豊かさ ・ 買物・飲食 ・ 子育て ・ 公共空間 ・ 自己効力感 ・ 事業創造
W （弱み）	<p>（主観と客観の偏差値50未満を記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅環境 ・ 自然の恵み ・ 自然景観 ・ 地域とのつながり 	<p>（主観50未満、客観50以上を記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市景観 ・ 自然災害 ・ 環境共生 ・ 文化・芸術

ダッシュボードの「因子別」の画面の下段にある主観と客観の因子の偏差値を使って、簡易版SWOT分析の4つの象限に振り分けていく

【SO：主観も客観も50以上】

因子	主観	客観
医療・福祉	54.1	54.7
買物・飲食	54.7	60.9
住宅環境	47.1	32.6
移動・交通	60.1	48.8
遊び・娯楽	56.5	54
子育て	52.2	51.5
初等・中等教育	53.7	45.6
地域行政	54.8	46.9
デジタル生活	54.3	60.3
公共空間	50.2	57.8
都市景観	49.1	55.4
事故・犯罪	54.3	42.7
自然景観	41.9	39.9
自然の恵み	37.6	40
環境共生	40	50.7
自然災害	48.4	50.7
地域とのつながり	49.4	47
多様性と寛容性	50.4	55.6
自己効力感	52.5	52.6
健康状態	52.6	38.2
文化・芸術	47.8	61.5
教育機会の豊かさ	51.4	51.7
雇用・所得	54.2	44.2
事業創造	53.2	63.6

【ST：主観50以上・客観50未満】

因子	主観	客観
医療・福祉	54.1	54.7
買物・飲食	54.7	60.9
住宅環境	47.1	32.6
移動・交通	60.1	48.8
遊び・娯楽	56.5	54
子育て	52.2	51.5
初等・中等教育	53.7	45.6
地域行政	54.8	46.9
デジタル生活	54.3	60.3
公共空間	50.2	57.8
都市景観	49.1	55.4
事故・犯罪	54.3	42.7
自然景観	41.9	39.9
自然の恵み	37.6	40
環境共生	40	50.7
自然災害	48.4	50.7
地域とのつながり	49.4	47
多様性と寛容性	50.4	55.6
自己効力感	52.5	52.6
健康状態	52.6	38.2
文化・芸術	47.8	61.5
教育機会の豊かさ	51.4	51.7
雇用・所得	54.2	44.2
事業創造	53.2	63.6

【WO：主観50未満・客観50以上】

因子	主観	客観
医療・福祉	54.1	54.7
買物・飲食	54.7	60.9
住宅環境	47.1	32.6
移動・交通	60.1	48.8
遊び・娯楽	56.5	54
子育て	52.2	51.5
初等・中等教育	53.7	45.6
地域行政	54.8	46.9
デジタル生活	54.3	60.3
公共空間	50.2	57.8
都市景観	49.1	55.4
事故・犯罪	54.3	42.7
自然景観	41.9	39.9
自然の恵み	37.6	40
環境共生	40	50.7
自然災害	48.4	50.7
地域とのつながり	49.4	47
多様性と寛容性	50.4	55.6
自己効力感	52.5	52.6
健康状態	52.6	38.2
文化・芸術	47.8	61.5
教育機会の豊かさ	51.4	51.7
雇用・所得	54.2	44.2
事業創造	53.2	63.6

【WT：主観も客観も50未満】

因子	主観	客観
医療・福祉	54.1	54.7
買物・飲食	54.7	60.9
住宅環境	47.1	32.6
移動・交通	60.1	48.8
遊び・娯楽	56.5	54
子育て	52.2	51.5
初等・中等教育	53.7	45.6
地域行政	54.8	46.9
デジタル生活	54.3	60.3
公共空間	50.2	57.8
都市景観	49.1	55.4
事故・犯罪	54.3	42.7
自然景観	41.9	39.9
自然の恵み	37.6	40
環境共生	40	50.7
自然災害	48.4	50.7
地域とのつながり	49.4	47
多様性と寛容性	50.4	55.6
自己効力感	52.5	52.6
健康状態	52.6	38.2
文化・芸術	47.8	61.5
教育機会の豊かさ	51.4	51.7
雇用・所得	54.2	44.2
事業創造	53.2	63.6